

IT利活用により目指すべき社会・姿（分野別：記載例）

<農業・周辺産業高度化・知識産業化>

- n 農業情報創成・流通促進による「農業の産業競争力向上」、「関連産業の高度化」「市場開拓・販売力の強化」を進め、ITを活用した、農業・周辺産業の高度化・知識産業化を加速させる。
- n 2017年度以降、当該IT利用技術により、生産された農産物と当該技術の海外展開を成長軌道に乗せるとともに、**我が国農業の生産性と農産物の付加価値の安定的かつ飛躍的な向上を達成**し、2020年度には農林水産物輸出目標 1 兆円を達成する。

<健康長寿社会の実現>

- n 国民一人一人が有効性を理解することにより自発的な利活用が促されるような、データを利活用した健康増進・管理や疾病予防の仕組みの構築を図る。
- n 必要な時に効果的・効率的な医療・介護や生活支援サービス等を安心して受けられる持続的な体制を整備する。
- n これらの取組を含む各種施策を通じて、**国民が長く健康で自立して暮らすことができる社会（健康長寿社会）を実現**するとともに、これに対応した新サービス・新産業の創出を図る。

<世界一安全で災害に強い社会の実現>

- n 災害時に全ての国民が正確な災害関連情報を確実にかつ多様な伝達手段で入手できる防災・減災情報インフラを構築する。また、大規模災害時等において、IT・データを活用することにより、……**「助かる命を確実に助ける」災害に強い社会を実現**する。
- n センサー、ロボット、非破壊検査、情報化施工等の技術も活用することにより、社会インフラの実態を正確に把握・蓄積し、それらを活用することにより、社会インフラを安全により長く利用できるようにつなげ、**世界で最も安全で経済的な社会インフラを実現**する。

<効率的・安定的なエネルギーマネジメントの実現>

<目指す社会>

- n 電力需給の管理については、需要者が供給側の状況に応じて需要を選択できる「デマンドリスポンス」など、需要者が電気を始めとするエネルギーマネジメントに積極的に参加できるシステムを構築する。

<世界で最も安全で環境にやさしく経済的な道路交通社会の実現>

- n 車と車、道路と車、車と人等が相互に、タイムリーな情報交換ができるようにするとともに、地図情報や車・人の位置情報等の地理空間情報（G 空間情報）、蓄積データを活用することなど、ITS（Intelligent Transport Systems）技術の活用により、**交通事故の危険や交通渋滞が回避される、安全で、環境にやさしく、経済的な道路交通社会を実現**する。
- n あわせて、高齢者や障がい者にとって、安心・安全かつ円滑な移動が可能となる移動支援システムや、人が移動する際のニーズを正確に把握することにより最適な車と公共交通機関を組み合わせた移動手段の提案が可能となるシステムを構築する。

<雇用形態の多様化とワークライフバランスの実現>

- n 若者や女性、高齢者、介護者、障がい者を始めとする個々人の事情や仕事の内容に応じて、クラウドなどの IT サービスを活用し、外出先や自宅、さらには山間地域等を含む遠隔地など、**場所にとらわれない就業を可能とし、多様で柔軟な働き方が選択できる社会を実現**するとともに、テレワークを社会全体へと波及させる取組を進め、労働者のワーク・ライフ・バランスを実現する。

IT総合戦略本部の体制 (平成27年4月時点)

高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部 (IT総合戦略本部)

本部長 : 内閣総理大臣
副本部長 : IT政策担当大臣、内閣官房長官、総務大臣、経済産業大臣
本部長・副本部長を除く全国務大臣、内閣情報通信政策監及び有識者 (10名以内)

地方創生IT活用推進
会議

新戦略推進専門調査会 (親会)
会長 : 内閣情報通信政策監 (政府CIO)
委員 : 高度情報通信ネットワーク社会の形成に関し優れた見識を有する者のうちから、内閣総理大臣が任命する者
高度情報通信ネットワーク社会の形成に関する政府の戦略等の推進管理等を行う

電子行政オープンデータ
実務者会議

パーソナルデータに関する
検討会

ITコミュニケーション
活用促進戦略会議

eガバメント
閣僚会議

政策企画
ワーキンググループ

- 電子行政分科会
- 農業分科会
- 医療・健康分科会
- 人材育成分科会
- 防災・減災分科会
- 新産業分科会
- 道路交通分科会
- 規制制度改革分科会
- マイナンバー等分科会

- 公開支援
ワーキンググループ
- 利活用推進
ワーキンググループ

- 技術検討
ワーキンググループ

- 各府省情報化統括責任者 (CIO) 連絡会議
- ワーキンググループ (国・地方IT化・BPR推進チーム)

IT総合戦略本部のこれまでの主な取組（創造宣言策定以降）

【分野横断的な推進事項（電子政府を含む）】

< 電子政府とデータの利活用 >

- n **行政情報システムの改革**
（「電子行政分科会」、「各府省CIO連絡会議」等）
 - 政府情報システム改革ロードマップ（13/12）
 - 業務・システム最適化計画（14/4）
 - 日本版ITダッシュボード運用開始（14/7）
 - 政府情報システムの整備・管理標準ガイドライン（14/12）等
- n **利便性の高い電子行政サービス**
（「マイナンバー等分科会」）
 - マイナンバー等分科会中間とりまとめ（14/5）
 - マイナンバー法改正案国会提出（15/3）
- n **公共データの民間開放**
（「電子行政オープンデータ実務者会議」）
 - オープンデータ憲章アクションプラン（13/10）
 - 政府標準利用規約ver1.0（14/6）
 - データカタログサイト本格版立ち上げ（14/10）
 - 地方公共団体オープンデータ推進ガイドライン（15/2）等

< ビッグデータの利活用とイノベーション促進 >

- n **パーソナルデータ**（「パーソナルデータに関する検討会」）
 - パーソナルデータ利活用に関する制度見直し方針（13/12）
 - パーソナルデータ利活用に関する制度改正大綱（14/6）
 - 個人情報保護法改正法案国会提出（15/3）
- n **規制改革**（「規制制度改革分科会」、「ITコミュニケーション活用促進戦略会議」）
 - 規制制度改革集中アクションプラン（13/12）
 - ネット意識革命宣言（14/5）
- n **ビッグデータ利活用、起業促進、地域活性化**
（「新産業分科会」）
 - 「起業家精神を創発するIT関連施策パッケージ」（14/10）

【分野毎の推進事項】

～各府省の予算の総合調整（横串を通す）等～

- n **農業・周辺産業の高度化・知識産業化**
（「農業分科会」）
 - 農業情報創成・流通促進戦略（14/6）
- n **健康長寿社会の実現**（「医療・健康分科会」）
健康・医療政策本部との連携（「次世代医療ICTタスクフォース」～
「次世代医療ICT基盤協議会」）
- n **世界一安全で災害に強い社会の実現**
（「防災・減災分科会」）
 - 防災・減災におけるSNS等の民間情報の活用等に関する検討会
報告（14/9）
- n **効率的・安定的なエネルギーマネジメント**
- n **世界で最も安全で環境に優しく経済的な道路交
通社会の実現**（「道路交通分科会」）
 - 官民ITS構想・ロードマップ（14/6）
SIP・自動走行システムとの連携
- n **雇用形態の多様化とワークライフバランスの実現**
 - 国家公務員テレワークロードマップ（15/1）
- n **人材育成・教育**（「人材育成分科会」）
 - 創造的IT人材育成方針（13/12）
- n **世界最高水準のITインフラ環境の整備**
- n **次世代放送・通信サービスの実現**

IT総合戦略本部におけるこれまでの成果

n 情報システム改革、制度改革、オープンデータ等を積極的に推進。

< 政府情報システム改革 >

- n 政府情報システム数：
63%削減（2018年）
- n 運用コスト：
23%圧縮（2021年）

< 制度改革（MN、PD） >

- n 個人情報保護法・マイナンバー法改正案を今通常国会に提出。

< オープンデータ >

- n データカタログサイト(Data.go.jp)の本格運用開始（2014年10月）

n この結果、この2年間で、ITに係る国際ランキングは、反転急上昇。

< 国連電子政府ランキング >

- ü 18位（2012年） **6位**（2014年）
- ü 「政府オンラインサービス指標」は、**4位**（2014年）

< 世界経済フォーラムICTランキング >

- ü 21位（2013年） 16位（2014年） **10位**（2015年）
- ü 「政府のICT利用」は、27位 22位 **7位**（2015年）

